

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年、科学者たちは氷河から採取して氷と雪のサンプルから33種類のウイルスを発見したと発表がありました。世界中の氷河が驚くべき速

速さで溶けている為放出された微生物が雪解け水とともに地下水に流れ込み人工密集地に到達して動植物や人間に感染する可能性があるとの事。人類が身勝手な便利性を追い求めたツケが今私たちに降りかかるようとしているのです。便利性だけではなく、人類が生きる為本当に必要な最小限のことだけを見直すことが必要だと考えます。今からでも決して遅くはないと思いたい気持ちで一杯です。暑さ厳しい折り、くれぐれもご自愛ください。

サンライズの物語

語らずとも伝わる想い——

家族の絆について考える物語



その方は、末期の前立腺癌に罹患し余命宣告をされ自宅へ戻った方でした。こよなく家族を愛し子供たちを山登りに連れて行っていたのです。

退院時はとても元気で家へ戻ったら「妻のお蕎麦を食べるのが楽しみ」と話されていたのです。

自宅へ戻り好物のお蕎麦、うなぎを食べ「美味しかったよう～」と嬉しそうに話されておりました。

毎週孫と愛犬が来るのを楽しみにしていたのです。

そんな中体力は急激に低下しベットから起き上がれなくなってしまいました。奥様が傍で介護をしていましたが痛みがあっても弱音を吐かない夫を看ながら、奥様がポツンと言った言葉が「主人は無口で余り話をしない人です。私が一方的に話してもうなずくだけです、主人の家族に対する思いは多くを語らずとも主人の思いは伝わります」と・・・

最期の時・・・家族が見守るなか天国へと旅立ちました。言葉にしなくても分かり合える家族への想い・・・素敵なお家族だと思いました。

浅草寺に外出レク

皆さんでお参りしてきました。
人形焼とお茶を召し上がりました。



堀切菖蒲園に外出レク

色々な種類の菖蒲の花があり、皆さん
「色んな色の菖蒲があつて綺麗ね～」
等と言って喜んでいました。



NEWS 今月のニュース

介護も文化も学びたい ミャンマーの実習生5人

【浦添】ミャンマーから介護技能実習生5人が来日し、6月から浦添市内の介護施設で働いている。在留期間は3年を予定し、5人は1年後の介護試験に挑戦する。浦添での介護技能実習生の受け入れは初めて。当初は2年前の2020年来日する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。5人は今月10日、浦添市役所に松本哲治市長を訪ね、沖縄での抱負を語った。

実習生の受け入れは市内の福祉関係の企業、団体が構成する市介護人材サポート事業連絡協議会が窓口となり、5人は現在、協議会の会員でもあるNPO法人ライフサポートで、社会医療法人仁愛会、医療法人太陽会が運営する介護施設で働いている。

連絡協議会は2018年12月に慢性

的な人手不足に陥っている介護業界の人材育成や確保などを目的に結成した。同協議会の友寄利津子会長は「会員同士が協力し、悩みや情報を共有することでトラブルなどが起こらないよう対応する」と話した。友寄さんによると、平均年齢が低いミャンマーでは「介護職」という概念が浸透しておらず、実習生の5人はいずれも介護職に就くのは初めて。

技能実習生の受け入れを受け、浦添市は市外国人介護人材受入れ事業補助金として、1人当たり年12万円を各事業所に交付する。交付金の支給は3年間を予定している。

市役所を訪れたキン・プー・フィン・ゾーさん(30)は「沖縄に来るのは初めてだが、周りの人はみんな優しくうれしい。まだ、分からないことが多いが、きちんと教えてくれる。いまは毎日が面白い」と語った。

アーカイン・チーさん(35)は「初めての介護職だが、毎日が楽しい。日本語も早く上達したい。施設のおばあちゃんとおじいちゃんから沖縄の方言を教えてもらうことが楽しい」と語った。

(吉田健一)



ミャンマーから技能実習生として来日した(前列左から)メイ・トゥ・キンさん、ピュー・ピャー・ウインさん、アーカイン・チーさん、キン・プー・フィン・ゾーさん、ユバ・ヤミン・マウンさん=10日、浦添市役所

<琉球新報 2022/6/27(月)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>